


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅳ 】
2 実施対象者	福島市立佐原小学校 全校児童31名 1年生5名 2年生8名 3年生2名 4年生4名 5年生7名 6年生5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（佐原っ子フェスティバル） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ソフトボール日本代表・アメリカ代表の出迎え） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けてその意義や価値などへの理解・関心を高め、福島での競技開催に一番近い小学生として、地域全体のオリンピック・パラリンピックに向けて機運醸成を図る ○ 多様な文化を受け入れ、人々が互いに人権を尊重し合い、共に力を合わせて生活する「共生社会」についての理解を深めるとともにその実現を目指そうとする心情を育む。
5 取組内容	(1) ソフトボール日本代表・アメリカ代表の出迎え 6月にソフトボール日本対アメリカの親善試合が行われた。その際に地域の方々と1年生から6年生全員で日本、アメリカの代表選手の出迎えを行い、オリンピックへの機運を高めた。  (2) ボッチャ体験教室 全校生でボッチャのコーチから話を聞き、体験する学習を実施した。パラリンピックでのボッチャ競技の話を知ったり、チームに分かれて、簡単な試合を行ったりすることで競技の難しさや奥深さ、スポーツの楽しさを感じ取ることができた。



(3) ソフトボール日本代表選手との交流

ソフトボール日本代表対アメリカ代表との親善試合の後、本校にソフトボール日本代表の選手においていただき、ソフトボール競技についての説明を受け、競技体験ということでキャッチボールやバッティングの仕方について教えていただいた。



(4) 佐原っ子フェスティバル

3・4年生は学習発表会で2020年に福島市のあづま球場で野球とソフトボールのオリンピックが開かれることを保護者や地域の方へ呼びかけるとともに北京オリンピックのテーマソング「HERO」の合奏などを発表し、オリンピック・パラリンピックへの興味や関心を高めた。



(5) パラリンピックについての学習

5・6年生は、パラリンピックについて継続して学習し、共生社会について考えるとともに、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックを福島で開催地域としてどのように応援していくのかについて話し合うことができた。

6 主な成果

- ソフトボールの日本代表、アメリカ代表の選手を迎え、練習風景を見学することで、オリンピックをより身近なものに感じ、オリンピックへの関心がさらに高まった。
- ボッチャ競技の全日本コーチにボッチャについての話を聞き、実際に競技を行うことで、パラリンピックへの関心を高め、障がいを

	<p>持っている方への理解がより深まった。また、ボッチャ競技を体験することで、ボッチャがどんな人でも楽しめるスポーツであることに改めて気づくことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3・4年生はオリンピック・パラリンピックが開催されるあづま野球場に隣接する小学校に在籍していることに誇りを持ちながら、「佐原っ子フェスティバル」の発表を通して、地域や保護者の方へ行うことができた。 ○ パラリンピックの学習を通して、障がい者への見方が変わり、スポーツを通じて共生社会を作り上げていくことが大切なことについて気づくことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3～6年生の総合的な学習の時間での学習と関連させながらオリンピック・パラリンピック教育を推進することができた。 ○ オリンピック・パラリンピック競技の開催地に最も近い小学生であることを子ども達に動機付けにさせながら事業を展開することができた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業を進めていく上で、予算の執行について、1学期(4月から6月)に実施した内容について、オリンピック。パラリンピック推進事業の予算が執行できないのは困った。
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来年度もオリンピック・パラリンピック教育の時間を総合的な学習の時間に位置づけ、本事業を継続して実施する予定である。本校は、2020年福島市の開催地である「あづま野球場」に最も近い小学校でもあるので、オリンピック・パラリンピック教育を通じて地域とともにオリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げていきたい。